

## 東成瀬小児童 **豆腐あぶり体験「来年も元気に」**



「豆腐あぶり」を体験する児童たち

東成瀬村に古くから伝わる年中行事「豆腐あぶり」が11日、同村田子内のふる里館で行われた。東成瀬小学校4年生11人が来年1年の健康を願って豆腐のみそ田楽を味わった。

1年間の薬代や診療代を医者に支払う12月8日の「薬礼日」に合わせた行事で、豆腐にみそを塗って焼いて食べる。「医者のおすねにみそをつける（恥をかかせる）」から転じたとき、来年こそは医者にかからないと

の意味が込められているという。

東成瀬村昔っこの会の谷藤広子さん（69）が豆腐にまつわる昔話を語ったほか、同村田子内の佐々木友信さん（91）による豆腐あぶりのいわれを説明。児童たちは2人の話に耳を傾けた後、手作りのみそを豆腐に塗り、いろりであぶって食べた。高橋由宇さんは「豆腐を食べて来年も元気に楽しく過ごしたい」と話した。

豆腐あぶりは村の年中行事を再現する同校の事業の一環。4年生を対象に毎年実施している。（舘岡朋美）

（令和6年12月13日（金）秋田魁新聞より一部抜粋）